

構造色とはそれ自体には色は持たないものの、  
光の波長あるいはそれ以下の微細構造によって  
もたらされる物理現象による発色で、  
チョウやタマムシの作り出す  
美しい色彩に魅了された方も多いでしょう。

本講演では、サツマイモの大害虫である  
アリモドキゾウムシを中心とした、  
さや翅の構造色色彩多型の仕組みや遺伝、  
また、構造色を利用した害虫防除について  
紹介します。



アリモドキゾウムシ  
Cylas formicarius

2017年6月3日 (土)

# 甲虫に見られる 構造色多型の遺伝と 害虫防除

帯広畜産大学  
環境農学部門 環境生態学分野

熊野了州

# BIO MIMETICS

バイオミメティクス・市民セミナー

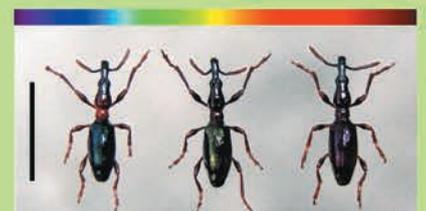
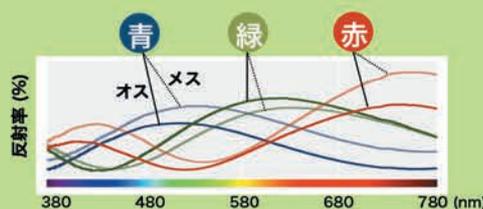
会場：北海道大学総合博物館/1階 「知の交流」  
札幌市北区北10条西8丁目

時間：午後1時30分から午後3時30分

主催：北海道大学総合博物館  
共催：科学研究費 新学術領域「生物規範工学」  
高分子学会北海道支部  
協賛：千歳科学技術大学バイオミメティクス研究センター

北海道大学総合博物館

060-0810 札幌市北区北10条西8丁目  
問合せ先：TEL.011-706-2658 FAX. 011-706-4029  
E-mail: museum-jimu@museum.hokudai.ac.jp



青

緑

赤